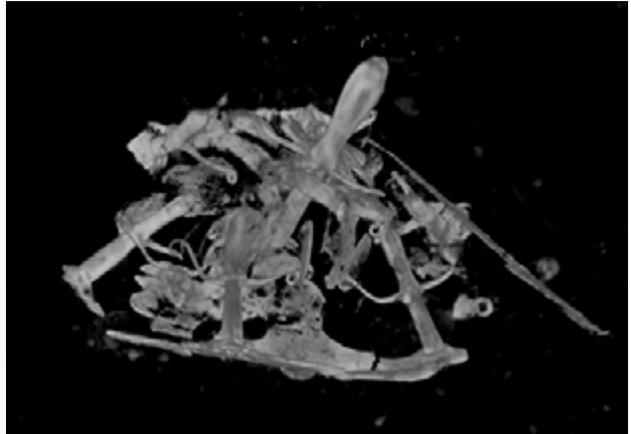


3 X線CTスキャナによる調査成果

【金銅製歩揺付雲珠】

花びら形の金具が傘の骨のように枝分かれした吊金具に吊り下がっています。六角形の透かし彫りの中央に大型の歩揺を配置して、周囲に小型の歩揺が6点立つ、極めて華やかなデザインであり国内では出土例がありません。



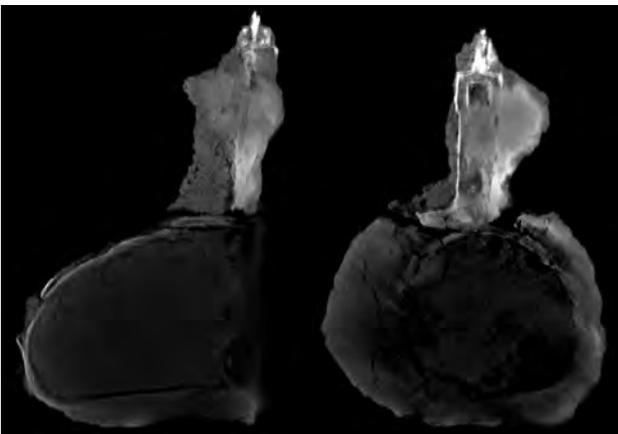
【金銅装心葉形杏葉】

左右1対の鳳凰と思われる文様で飾られ、文様や金具の特徴は新羅系です。鳳凰の羽の流れを極めて細かい線彫りで表現するなど精巧な造りが見られます。また背面の土壌中に織物が残されていることが判明しました。



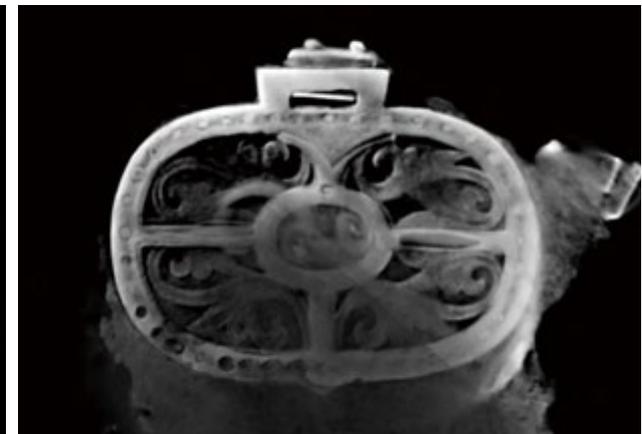
【鉄製壺鏡】

足を掛ける部分は壺状で、鞍から下がる紐の吊り手部分は、蹴込の口と平行した長方形となっています。



【金銅装心葉形鏡板付轡】

鏡板は心葉形で、銜通し孔を中心に十字に区画しています。区画の内部は唐草文で装飾されています。



※船原古墳は現在も調査中のため、名称等が今後、変更・修正されることがあります。(資料は古賀市教育委員会蔵)

(文化財調査室 加藤和歳・小林啓)



編集 発行：平成26年3月4日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>